

## 第2章 施策の体系化及び基本方針

## 第2章 施策の体系化及び基本方針

第2章では、上位計画や関連計画を考慮し施策体系や海老名市下水道の基本方針を決定します。

### 1 施策の体系化

海老名市下水道総合計画では、上位計画である海老名市総合計画等の方針に準拠しつつ、関連計画等との相互連携が可能な施策を立案していきます。ここでは、海老名市下水道総合計画での施策を体系ごとに区分し、上位計画等で位置付けられた施策体系等と整合を図っていきます。

#### (1) 上位計画（海老名市総合計画）

海老名市第四次総合計画<sup>\*</sup>では、3つの基本理念のもと、将来都市像を「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」と定めています。その実現に向けた基本となる方向として、都市ブランド戦略に基づく魅力や可能性・場を活用していくため、政策の基本目標を6つの「フィールド（可能性・場）」として示し、その実現を目指しています。

#### 海老名市総合計画の基本理念

将来都市像：

快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名

#### 3つの基本理念

- 1 ゆとりと活力のあるまち
- 2 安全安心で快適に暮らせるまち
- 3 支えあい、自治の確立したまち

#### 6つのフィールド

- 1 健康で自立するためのフィールド
- 2 心づくりのフィールド
- 3 次世代を担う子どものためのフィールド
- 4 快適な生活のフィールド
- 5 活力ある産業のフィールド
- 6 新たな行政運営のフィールド

## (2) 関連計画

## ア 海老名市都市マスタープラン

海老名市都市マスタープラン\*では、目標とする総合計画の将来都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち 海老名」を踏まえ、4つの基本目標の実現のための施策を具体的に示し、着実に推進しています。

## 海老名市都市マスタープランの基本目標

将来都市像：快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名

## 基本目標

- 1 まちの賑わいや元気を実感できる都市
- 2 安全で安心感のある都市
- 3 誰もが暮らしやすさを実感できる都市
- 4 自然や歴史の魅力があふれる都市

## イ 海老名市環境基本計画

海老名市第二次環境基本計画\*では、海老名市を含めた世界中の“地域”の環境の数々が、地球環境につながっていることを考慮し、私たちの生活が環境に対してどのように関係しているかを基準に計画の体系を分類しています。

海老名市第二次環境基本計画における計画の体系は、地球環境と地域環境に大別し、それぞれの視点から整理し、市が取り組む施策、市民・事業者の役割を定めています。

## 海老名市環境基本計画における計画の体系

- 1 地球環境
  - i 地球温暖化の防止
- 2 地域環境
  - i 身近な生活環境を守ろう
  - ii 海老名市の特性を活かそう

## (3) 海老名市下水道総合計画

海老名市下水道総合計画では、上位計画である海老名市総合計画の将来都市像を目指し、また、海老名市都市マスタープラン\*や海老名市環境基本計画等の関連計画との連携を図りつつ、【文化的生活の確保と公共用水域の保全にむけて】を実現させるため、3つの施策体系に分類し、具体的な取組としてとりまとめ、着実に推進していくこととします。

## 海老名市下水道総合計画の施策の体系

- 1 安全・安心のまちを支える下水道
- 2 豊かな自然環境を守る下水道
- 3 持続可能で効率的な下水道

## 2 海老名市下水道の基本方針

海老名市下水道の基本理念である【文化的生活の確保と公共用水域の保全にむけて】の実現に向け、着実に下水道事業を推進していくため、海老名市下水道総合計画では、施策体系別の基本方針と対策を次のとおりとし、今後の下水道事業を展開していきます。

### 1 安全・安心のまちを支える下水道

大規模な地震や台風等の自然災害に対しても、安全・安心のまちを支える下水道として、下水道施設の防災対策、応急対策及び減災対策を計画的に講じて、重要なライフライン<sup>※</sup>のひとつである下水道が災害時においても被害を最小限にとどめ、機能を維持し、迅速な復旧活動が行えるようにします。

また、雨水管渠<sup>※</sup>の整備等により、大雨による浸水対策を講じていきます。

体系別  
の対策

1. 管路施設の地震対策
2. 台風等の大雨に対する浸水対策

### 2 豊かな自然環境を守る下水道

相模川流域の水環境を保全していくため、豊かな自然環境を守る下水道として、下水道未整備区域の生活排水対策を講じていきます。

また、地下水の涵養<sup>※</sup>等に代表される雨水の活用や下水処理の過程で発生する汚泥<sup>※</sup>等を活用する技術が近年多く開発されていることから、下水道資源の利活用の検討を行い、地球温暖化防止への貢献と循環型社会<sup>※</sup>の創造に寄与していきます。

体系別  
の対策

3. 下水道未整備区域の生活排水対策
4. 下水道資源の利活用の検討

### 3 持続可能で効率的な下水道

下水道施設の老朽化対策を進めていくため、計画的かつ効率的な下水道施設の維持管理（管路清掃等の日常業務）及び改築事業等により、下水道施設の長寿命化対策を進めていきます。また、下水道の維持管理業務の効率化、窓口業務のサービス向上など、より効率的な下水道事業経営を実現していきます。

体系別  
の対策

5. 下水道施設の長寿命化対策
6. 効率的な下水道事業の経営